

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5328 日本語の文法			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜2限				
教室	H205教室				
代表教員	苅宿 紀子				
担当教員	苅宿 紀子				
テーマと到達目標	<p><b>【テーマ】</b> 現代日本語における進行中の変化を考察する。従来と異なる用法は「誤用」と捉えられることもあるが、よく観察すると言語の合理的な変化の過程であることも多い。「フツウニかわいい」「雨が降るっポイ」などの日常的な表現を例として言語変化の要因を考察する。</p> <p><b>【目標】</b> ①従来の用法と新用法との違いに気付くことができる。 ②言語変化の要因について日本語学の理論をもとに考えることができる。</p>				
概要	<p>自分の表現を誤りだと言われた経験はないだろうか。従来とは異なる用法を不自然に感じることもあれば、従来とは異なることに気付かないこともある。</p> <p>言語は変化するものであり、現代日本語も変化し続けている。一般的に「誤用」と捉えられるような現象も、よく観察すると言語の体系的なすさまじさを埋めるための合理的な変化であることも多い。「誤用」か「変化」か。この問題は誤用意識・規範意識とも関わる。「ゼンゼンいいよ」「知らナイデス」といった日常的によく用いる表現が、どのような要因によって、どのように成立したのかを具体的な用例を見ながら考えていく。言語変化の要因を考察することにより、言語の本質を捉えたい。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	副詞の用法変化①ー「ゼンゼンいいよ」は誤りなのか				対面授業
第3回	副詞の用法変化②ー「ゼンゼン+【肯定】」の実態				対面授業
第4回	副詞の用法変化③ー「フツウニかわいい」はどれくらいかわいいのか				対面授業
第5回	副詞の用法変化④ー「ナンナラ」の新用法				対面授業
第6回	接辞の用法変化①ー「わたしテキには」とは				対面授業
第7回	接辞の用法変化②ー「子どもッポイ」から「雨が降るッポイ」へ				対面授業
第8回	動詞の変化ー「高スギル」から「可愛スギル」へ				対面授業
第9回	ヴォイスに関わる変化①いわゆるラ抜き言葉「食べられる」と「食べレレル」				対面授業
第10回	ヴォイスに関わる変化②いわゆるサ入れ言葉「終わらせていただきます」				対面授業
第11回	文末表現の変化①ー「～マセン」から「～ナイデス」へ				対面授業
第12回	文末表現の変化②ー「デス」の新用法				対面授業
第13回	配慮表現の変化ー「ダイジョウブデス」と答えるとき				対面授業
第14回	進行中の変化とは／誤用か変化か				対面授業
第15回	学修内容のまとめ				対面授業
成績評価の基準	<p>平常点(授業中の課題、出席状況)【50%】と最後のまとめの内容【50%】で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の課題に対するフィードバックは授業時に行う。</li> <li>・授業回数の3分の2以上、出席した場合に成績評価の対象となる。</li> </ul>				
履修にあたっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業は総合文化学科の専門科目であり、日本語教員養成プログラムの必修科目である。</li> <li>・授業は受講生に課題を出しながら進めていくので、課題に積極的に取り組むこと。</li> <li>・遅刻・無断退室は認めない。</li> </ul>				
オンライン授業方式(同時双方向)					

型・オンデマンド型)の詳細	
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	使用しない。適宜プリントを配布する。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業時に紹介する。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください  <a href="https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html">https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</a>  合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---